

No.	取組分野	質問概要	反映内容
1	①栄養・食生活	全国的な平均と比較して横須賀市の水準がわからない。肥満者の割合は高い傾向なのか。	国、県、中核市との比較を追記した。
2	③休養・睡眠	③休養・睡眠で、国や政令指定都市と比較するほか、同規模の自治体、県内だと相模原や藤沢と比べるといいと思う。	国、県の数値を追記した。
3	②身体活動・運動	教育委員会が毎年1月に小中学校でモデル校を指定して、睡眠や食事の問題などについて2年間での研究成果を発表するシステムがある。連携するとより効果が上がるのでは。	庁内ワーキング等で教育委員会と情報を共有し連携する。
4	④飲酒	④飲酒の評価指標で、中高生の飲酒の割合が入っていることに違和感を感じる。	目標値を「0%」から「維持」に変更した。
5	⑥歯・口腔の健康	⑥歯・口腔の健康で、オーラルフレイルは重要。	評価指標にはあったが、文章になかったため追記した。
6	⑥歯・口腔の健康	3歳児の重症型むし歯の現状値が29%というのは高い数値だと思った。	評価指標を「むし歯がある3歳児のうち重症型の割合」に変更した。
7	⑦がん	がんにかかることに対する治療費のうち、約半分弱の1兆円が予防できるがんの損失と考えられている。横須賀ではピロリ菌除菌に力をかけている。	文章中に中学校2年生のピロリ菌対策事業を追記した。
8	⑦がん ⑧循環器病・糖尿病	年齢調整死亡率人口10万対は、結構統計用語なので、わかりづらいかもしれない。	「人口10万人当たり」に変更し、コラムに「年齢調整死亡率」の説明を記載した。
9	⑪社会とのつながりの維持・向上	身近に子ども食堂をやっている人がいる。ボランティアの育成大事だが、施設の運営の支援も考慮出来たらよい。	食育につながるか地域福祉課に確認する。 (事業一覧にフードバンク機能を追記。)
10	⑫自然に健康になれる環境づくり	健康日本21では、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりに取り組む市町村数の増加を目標としている。(「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりに取り組む区域を滞在快適性等向上区域、通称「ウォーカブル区域」という。)取り組みの中に見当たらないが、どう考えているか。	シティサポート、シルバー人材センターの活動について追記した。 スポーツ推進計画などの関連計画との連携について追記した。
11	⑫自然に健康になれる環境づくり	②身体活動・運動で、「健康教室の開催やスポーツ教室の機会を提供」とあるが、具体的にどこと連携しているか。シティサポートよこすかが、若干専門性のある部門のところも幅広く色々なコースをやっている。活用する一つの方法。	
12	⑫自然に健康になれる環境づくり	シルバー人材センターの取り組みとして、神奈川歯科大学にて、歯周病についての講義をしてもらった。	シルバー人材センターの活動を追記した。
13	⑬誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備	商工会議所でも企業に年2回検診を実施している。うまく連携出来たらよい。	文章中に民間企業の健康経営の取り組みについて追記した。
14	⑬誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備	給食施設への働きかけは具体的にどういった働きかけか。	文章中に給食施設の説明を追記した。
15	⑬誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備	民間企業や団体との連携数の具体的な団体は何か。ドラッグストアが健康教育や、血圧計の設置などをしており、いい取り組みだと思った。	横須賀市薬剤師会との連携について追記した。
16	⑭子ども	⑮成人で、プレコンセプションケアの認知度があるが、高校生とか、若年のところにも必要だと思う。	評価指標に「プレコンセプションケアの認知度」を追記した。
17	⑯高齢者(65歳以上)	取り組み分野「⑩社会とつながりの維持・向上」と、「⑯高齢者(65歳以上)」で 評価指標「地域活動に参加している割合」の数値が異なる。	評価指標を、「地域活動に参加している高齢者の割合」に変更した。